

補助金・交付金チェックシート(No.1)

補助金名 (交付金名)	函館中央交通安全協会補助金	開始 年 度	昭和32年度
----------------	---------------	-----------	--------

団 体 名	函館中央交通安全協会
-------	------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市補助金等交付規則
-------------------------	-------------

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	当協会は、所轄の警察署の単位に各自治体に設置されている、各種の交通関連業者や個人会員で構成された組織であり、交通事故防止の徹底を図るためのSS運動やチャイルドシート装着の徹底等の各種運動を推進しているほか、優良運転者、優良会員等の表彰を行っており、これらの事業に要する経費の一部について補助金を支出している。
目 的	(目 的) 函館中央警察署の市域内地域を対象として、地域住民の交通安全意識の高揚を図るための各種運動を積極的に推進するため。
・ 効 果	(効 果) 当協会をはじめ関係機関・団体が取り組む、交通事故防止活動および交通安全啓発活動の継続的实施による、本市における交通事故発生件数等の減少。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		寄付金	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収 入	27	1,440	600	150	2,401	11	32	4,634
	28	1,440	300	150	2,500	8	22	4,420
	29	1,440	300	150	2,482	2		4,374
	30	1,440	200	150	2,453			4,243
	元	1,440	50	50	2,344		20	3,904
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	雑費	補助対象 外経費	計
	27	2,032	312	2,076		28	178	4,626
	28	2,040	364	1,829		30	155	4,418
	29	2,050	400	1,704		46	174	4,374
	30	2,222	292	1,556		45	128	4,243
元	2,257	365	1,130		68	84	3,904	

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館中央交通安全協会補助金
----------------	---------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	所轄の警察署(函館中央警察署)の指導により設置されている組織であり、地域住民の交通安全意識の高揚を図るための各種運動を積極的に推進しており、公益性は極めて高い。
2	必要性(補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	交通安全思想の普及徹底を図り、地域住民を事故から守るうえで効果がある。また、各種交通安全啓発活動等、市が対応しきれない部分をカバーする必要がある、近年の交通事情においてその役割は重要である。
3	自主性(自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	個人会費、団体からの特別会費を徴収し運営費に充てている。
4	有効性(他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市民の交通安全意識の高揚のため、各種活動を積極的に行い、交通安全思想の普及徹底が図られ、地域住民を交通事故から守るうえで効果があり、活動のための補助金が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input checked="" type="checkbox"/>	毎年度、定期的な事業を行っているため、ほぼ例年同様の積算内訳となっているが、今後も経費節減に努めるよう指導する。
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	運営費補助であり、協会から提出される収支予算書等における積算内訳を精査のうえ、補助金額を決定している。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金チェックシート(No.3)

補助金名
(交付金名)

函館中央交通安全協会補助金

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

函館中央交通安全協会をはじめ関係機関・団体が取り組む, 交通事故防止活動および交通安全啓発活動の継続的実施。

(達成状況)

地域住民の交通安全意識高揚のため, 函館中央警察署管内で警察・市などの関係機関・団体と連携して各種運動を積極的に展開し, 交通安全思想の普及徹底を図り, 交通事故発生件数等が減少し, 10年前に比べ半減となった。

■市等と共催で行った主な活動

○春夏秋冬各期における街頭啓発, 赤灯車両駐留啓発, 交通安全旗の掲出

○自転車利用者への街頭啓発, 高齢者夜光反射材啓発ほか

- ・函館市交通事故発生件数 平成21年 1,254件 → 平成26年 738件 → 令和元年 500件
- ・函館市交通事故傷者数 平成21年 1,498人 → 平成26年 895人 → 令和元年 592人
- ・函館市交通事故死者数 平成21年 7人 → 平成26年 5人 → 令和元年 5人

■協会独自の主な活動

○交通安全旗の作成, 配布 ○チャイルドシート, ベビーシートの貸し出し

○優良会員, 優良運転者の表彰 ○パトカーバスによる広報活動ほか

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

(評価)

- 十分効果をあげている
- 一定の効果をあげている
- 効果が疑問である
- その他

(理由)

事業効果を数値で測ることは困難であるが, 交通安全に関する広報・啓発等について有意義な活動を展開している。

○今後の方向性

 現行のまま補助を継続 見直したうえで補助を継続 廃止 その他

(見直しの内容)

(見直しの時期)

(廃止の理由)

(廃止の時期)

(その他の内容)

○終期の設定

終期設定

令和 4 年度

終期到来により廃止

終期到来時に再検討

次回チェック年度(予定)

令和 4 年度